

日本の育成の問題点

(by BOCAJAPAN)

具体的に、日本の現状をアルゼンチンのそれぞれの育成プロセスに当てはめて問題化してみましょう。

- ①**発掘のプロセス**では、多くの原石が見るべき者に見てもらえず、発掘(発見)すらされない選手が数多くいる。
- ②**獲得のプロセス**では、①発掘のプロセスが不十分であり、スカウトも少なく、良い選手を獲得しきれていない。
- ③**育成のプロセス**では、目的や育成システム、進路などが確立されていない。
- ④**競争のプロセス**では、年代別リーグ化が徹底されていない。(クラブではなく全国高校選手権といった学校母体チームの大会の方が何故か注目度が高いのが現状)
- ⑤**プロモーション**では、③④共に不十分であり、国際移籍ルールから解放されるU18年代の多くの選手が完成されていないのが現状でしょう。

以上を問題としたとき、やはり日本の未来を担う若き選手の多くが、その可能性を最大限に開花せずに終わってしまっている。ということになります。

私たちが見てきた日本とアルゼンチンの育成環境の違い



明確な育成の目標とプロセスを持ちそれを徹底的に追求したアルゼンチンの育成環境

育成の目的が曖昧で、一元化したプロセスを持たない日本の育成環境

